

令和元年度（公財）松山観光コンベンション協会 事 業 報 告

I. 事業概要

令和元年度は、道後温泉の保存改修工事が始まったことで、観光客の大幅な減少が危惧されましたが、手塚治虫の「火の鳥」とコラボした「道後REBORNプロジェクト」や松山市の営業努力等により5%程度の減少で抑えることができました。

当協会としては、そのような状況の変化等を見据えながら事業に取り組んでまいりました。

観光面におきましては、7月に台湾との定期便が就航したことに伴い、松山市と協力し、台湾でインバウンド誘客のためのプロモーション活動を実施しました。また、クルーズ船の寄港の際には観光案内を実施しました。継続的な取り組みとして、ホームページ、Facebook、インスタグラムを活用した情報発信のほか、松山マドンナ大使による観光PR活動や松山観光ボランティアガイドによる主要観光施設（松山城・道後温泉）などの案内を行いました。

物産面におきましては、12月に夏目漱石をゆかりとした交流協定を松山市と締結している東京都新宿区のイベントに出展し、物産販売と観光PR活動を実施しました。また、2月に札幌の東急百貨店にて21回目となる「松山の物産と観光展」を愛媛県と連携して開催しました。新型コロナウィルス感染症の影響で、売り上げは減少したものの、愛媛・松山の誇る物産と観光のPRに一定の成果がありました。

コンベンション事業におきましては、中国・四国地区のコンベンション推進協議会や7都市情報交換会などによる広域的な関係構築を継続し、人的交流・情報交換を進めるほか、懇談会では他団体で縁のある主催者との交流を通じて誘致活動を行いました。また、国際MICEエキスポ（IME2020）では、商談会形式による松山独自の支援や魅力を材料に誘致活動に取り組んだほか、誘致に成功した全国大会や国際会議等においては、支援メニューを提供するなど、主催者や参加者に松山での開催を喜んでいただけるような最大限のおもてなしを行いました。さらに、キーパーソンを招聘し施設や松山を実際に視察していただくことで、誘致に繋げる取り組みを行ったほか、コンベンションデータ情報を集約し有効に活用するためのシステム開発を実施しました。

国際交流事業としては、台湾において積極的に観光キャンペーン及び物産PR事業を開催することで誘客に努め、現地のイベントに合わせて松山の伝統文化である神輿を3基派遣し、各地で鉢合わせを実施することで、台湾メディア等に大きく取り上げられ効果的に松山をPRしました。また、台北ランタンフェスティバルにおいては、道後温泉・飛鳥乃湯泉をイメージしたランタンを設置し、松山の宣伝をしました。今後も、観光をはじめスポーツ、文化、学術等の交流に協力します。

各事業の詳細につきましては、別紙のとおりです。

II. 公益目的別事業報告

1. 観光・物産振興事業（公益目的事業1）

決算総額 123,715千円

(人件費を除く。以下同じ)

（1）おいでんか松山観光客誘致促進事業

支出決算 1,650千円

<受注型企画旅行>

助成業者 37社（詳細は、別紙資料3参照）

旅行会社が松山市へ観光客を送客する受注型企画旅行に

関し、貸切バスや船舶にかかる費用の一部を助成することで
観光客の誘致を促進した。



（2）松山マドンナ大使関連事業

支出決算 2,949千円

2019年度 松山マドンナ大使関係事業

委嘱式 2019年4月1日（月）

派遣件数 46件（延べ日数 107日）

2020年度 松山マドンナ大使選考会

期 日 令和元年12月21日（土）

応募者 27名

場 所 松山市総合コミュニティセンター



（左から愛原由姫、中川美来、竹内千歌）

（3）観光PR事業（新聞・テレビ・雑誌等によるPRおよびパンツ） 支出決算 19,877千円

① 広告宣伝関連

ア. 週刊「観光経済新聞」掲載観光広告 外

イ. 愛媛FC及び愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングスの試合会場への
広告掲載

ウ. 愛媛マラソン手荷物預り袋への広告



② イベント関連

・大神輿総練

期　　日　　令和元年9月8日(日)
場　　所　　城山公園（松山市堀之内）
内　　容

市内の神輿による「かき比べ」を行うことで、松山市の伝統文化である松山の神輿を全国にPRし、松山の魅力を発信する事業に協力した。今回は、神輿17基が参加したほか、水軍太鼓の演奏、野球拳踊り、獅子舞の演舞などが披露された。松山市外からは、宇和島の牛鬼、新居浜の太鼓台が参加し、力溢れるパフォーマンスを披露したほか、今治の継ぎ獅子も披露され会場を大いに盛り上げた。また大洲藩鉄砲隊による演武や愛媛県無形民俗文化財に指定されている「山鳥坂鎮縄神楽」に参加していただき、復興を祈念した演舞披露が行われた。さらに、松山東雲中学・高等学校吹奏楽部がマーチング演奏を初披露するなど、新しい要素を取り入れた。そのほか、ふれ愛ステージや愛媛県ほか県下5市町による観光物産展を開催し、当日は、子供から大人まで楽しめる内容で開催し、市民・観光客など延べ約6万人の来場を数え、盛大に開催することができた。



松山神輿17基、太鼓台、牛鬼によるかき比べ



ふれ愛ステージ



市町ブース



野球拳



水軍太鼓



今治継ぎ獅子



大洲藩鉄砲隊



山鳥坂鎮縄神楽



松山東雲中学・高等学校
吹奏楽部



新居浜太鼓台



宇和島牛鬼



女神輿



ふわふわ遊具



神輿パフォーマンス

(4) 観光キャンペーン事業

支出決算 60,899 千円

① 松山 DAY in 神宮球場 観光キャンペーン

期 日 令和元年7月17日(水)

場 所 神宮球場

内 容 「東京ヤクルトスワローズ VS 読売ジャイアンツ」

- ・ガービジョンによるPR（試合開始前、2回裏終了、3回裏終了、8回裏終了）
- ・のぼりの設置、横断幕の掲示、観光ポスターの掲示、ラッキープレゼントの実施、両軍選手代表への花束・記念品贈呈、球団への記念品贈呈、選手への差し入れ、松山市軟式野球連盟推薦の女子選手による始球式、観光パンフレットやノベルティの配布（先着1,000名）を実施した。
- また、愛媛県イメージアップキャラクター「みきやん」もグラウンドに登場し愛媛・松山のPRを行った。



カラービジョン



のぼり・横断幕



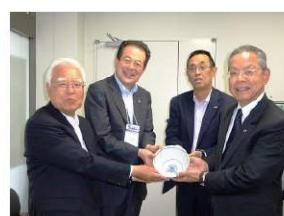
ポスター掲示



花束・記念品贈呈



始球式



記念品贈呈



ノベルティ配布



みきやん PR

② 台湾・台北市観光キャンペーン

ア. 日本の観光・物産博 2019

期　　日　　令和元年 6月 21 日 (金) ~ 6月 23 日 (日)

場　　所　　遠東SOGO百貨 台北忠孝館

内　　容　　今回は、松山ー台北線就航前の PR として、愛媛県と共同で出展した。

会場が台北の百貨店ということもあり、来場者は、日本の文化や観光・物産に関心の高い台湾人が多く見受けられた。

観光ブースでは、観光パンフレット等を配布して、愛媛県と連携した情報発信を行った。愛媛松山を知っている人はもとより、道後温泉やしまなみ海道をはじめとする観光地を訪れたことがある人や、今後訪れる計画を持つ人が多く訪れた。また、松山マドンナ大使とぬいぐるみのみきやんとの記念撮影や、マドンナ大使による台湾語でのジャンケンゲームを実施し、勝者の方にはパンフレットとノベルティ（道後温泉ハンドタオル）を贈呈した。



観光ブース



観光ブース 2



観光ブース 3



物産販売

イ. 2019台北温泉まつり

期　　日　　令和元年 10月 31 日 (木) ~ 11月 3 日 (日)

場　　所　　新北投温泉駅前広場 外

内　　容　　「2019 台北温泉まつり」ヘブースを出展し松山の観光PRとチャリティ事業として物産販売を実施し、台湾からの誘客促進並びに松山市と台湾・台北市との友好交流拡大を図った。また、台北市政府等の要望により、台北市と松山市の友好交流協定5年および2019年7月18日から松山～桃園間を結ぶエバー航空定期便が就航したことを祝い、道後八町会の協力を得て、道後神輿3基を派遣し、神輿の鉢合わせを新北投温泉駅前、台北市政府庁舎前、松山慈祐宮前で実施した。台北温泉まつりには延べ16万人が来場し、神輿の鉢合わせには延べ8万人の観客が訪れ、台湾のメディア等にも大きく取り上げられ松山のPRを盛大に行うことができた。



温泉祭り開会式



総上げ



鉢合わせ



パレード



台北温泉まつり



松山慈祐宮



台北市政府前

ウ. 2020台北ランタンフェスティバル

期　　日　　令和2年2月8日（土）～2月16日（日）

場　　所　　台北市西門町

内　　容　　「2020 台北ランタンフェスティバル」に松山のランタンを出展。松山市をPRするため、道後温泉本館・飛鳥乃湯泉および道後温泉の歴史が分かるように、白鷺、大国主命、少彦名命、聖徳太子、椿などをモチーフにしたランタンを出展したほか、ランタン会場に松山観光PRブースを出展し、愛媛県や松山市の観光パンフレットの配布やピストルダーツを実施。的命中した人には記念品として松山オリジナルグッズ等を数量限定で配布した。また、インスタグラムやFacebook等のSNSに当協会のランタンやブースの模様を掲載してくれた人にも記念品を贈呈することで、「松山」の認知度向上と情報の拡散に努めた。



松山観光ブース



パンフレット配布



SNSイベント



西門町の点灯式の様子



南港の開幕式



会場周辺



閉会式&パレード



松山・道後をモチーフにしたランタン

(5) 物産と観光展事業

支出決算 8,305千円

① 松山の物産と観光展（札幌）

期　日　　令和2年2月20日(木)～2月25日(火)

場　所　　札幌市（さっぽろ東急百貨店）

内　容

(1) 物産展—松山市が誇る選りすぐりの食品29業者（新規4）、工芸品8業者（新規2）が出店。

(2) 観光展—愛媛県内の主要な観光地をポスターやパンフレットで紹介。

「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」等を紹介。

(3) 特別企画—①まつやま農林水産物ブランド「せとか」を数量限定で販売。

②愛媛県のブランド柑橘「甘平」を特別価格で数量限定販売。

③愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」との撮影会。

(4) 表敬訪問等—開催に伴い札幌市をはじめ関係団体、旅行会社を表敬訪問。

(5) 宣伝PR—新聞・テレビ等による事前告知や開催期間中には、テレビ中継のほか適宜街頭宣伝も行った。



表敬訪問



TV取材



街頭宣伝



まつやま農林水産物ブランド
「せとか」の販売



みきゃんとの撮影会



観光コーナー



会場内1



会場内2



会場内3

② 松山の物産と観光展（首都圏等）

東京 2020 オリンピック・パラリンピック 250 日前記念イベント

期　　日　　令和元年 12 月 1 日（日）

場　　所　　東京・新宿

内　　容　　松山市と新宿区は「夏目漱石をゆかりとした歴史・文化及び観光交流に関する協定」を締結していることから、松山市と共同で観光PRや物産販売を行った。ブース内では、ピストルダーツを実施したことで、大勢の親子連れが訪れ、物産品も完売し、松山の魅力を広くPRすることができた。



式典



松山ブース



物産品販売

（6）パンフレット等の作成頒布事業

支出決算 1,023 千円

「瀬戸のまつやま・海ごはん」MAP

10,000 枚

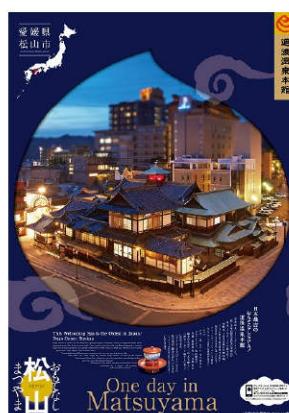
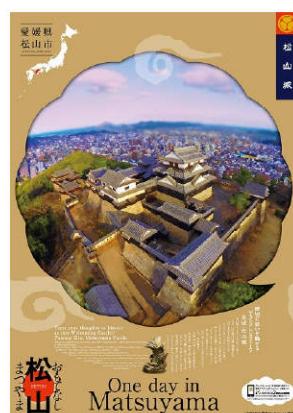


観光ポスター

松山城 250 枚



道後温泉 250 枚



(7) 案内所運営事業

支出決算 23,270千円

- ① 松山城東雲口駅舎1階案内所（委託業務）
- ② 道後観光案内所（委託業務）
- ③ JR松山駅松山市観光案内所（委託業務）
- ④ 松山観光港ターミナル観光案内所（委託業務）

観光案内業務	件 数	69,577 件
松山観光レンタサイクル事業(道後観光案内所)	件 数	710 件
松山観光レンタサイクル事業(松山城東雲口駅舎1階)	件 数	537 件

(8) 松山観光ボランティアガイド事業

支出決算 5,742千円

① ボランティア活動報告

●登録者数 156名

1. 案内コース	道後周辺	松山城
2. 案内日	毎日(年末年始除く)	毎日(年末年始除く)
3. 案内時間	9:00~12:00	9:00~12:00
	13:30~16:30(金土日祝のみ)	13:00~16:00
4. ガイド人数	平日 2名	平日 4名
	土日祝 4名	土日祝 10名
5. 案内件数	1,742件	3,377件
6. 案内人数	5,663人	13,353人

1. 案内コース	坂の上の雲ミュージアム周辺	JR松山駅発湯・遊コース
2. 案内日	毎日(坂の上の雲ミュージアム休館日及び年末年始除く)	土日祝(年末年始除く)
3. 案内時間	9:30~12:30	
	13:00~16:00	12:30~16:30
4. ガイド人数	平日 2名	土日祝 松山城 1名
	土日祝 6名	土日祝 道後 3名
5. 案内件数	2,129件	54件
6. 案内人数	4,797人	130人

② ボランティア募集事業

ふるさとふれあい塾～松山観光文化コンシェルジェ講座～

主 催 松山商工会議所・松山大学・(一社)愛媛県観光物産協会・松山市
(公財)松山観光コンベンション協会

開講期間 令和元年9月30日(月)～令和2年1月20日(月) (全15回)

場 所 松山大学(松山市文京町4-2)

受 講 者 一般 167名(うち松山商業高校40名)

大学生 73名 計240名

2. コンベンション事業（公益目的事業2）

決算総額（支出） 20,635千円

（1）誘致促進事業

支出決算 5,558千円

① 誘致セールス活動の実施

松山市において開催可能性のあるコンベンションの主催者を対象に、県外では主に東京方面で誘致宣伝活動を実施した。

加えて、松山市内外の地元主催者への誘致宣伝活動を積極的に実施した。

（詳細は別紙資料4参照）

首都圏： 116 団体

県 内： 68 团体

② 第29回国際MICEエキスポ（IME2020）への参加（出展）

会 期 令和2年2月26日（水）

会 場 東京国際フォーラム

主 催 日本政府観光局（J N T O）

（一社）日本コングレス・コンベンション・ビューロー（J C C B）

概 要 国際 MICE エキスポは、商談会形式で東京国際フォーラムで開催し、96 団体・81 ブースのセラーが出展し、総来場者（参加者）は 677 名（バイヤー363 名、セラー298 名、その他 16 名）を数えた。商談会は、13:30 から 20 分間のセッションが計 12 セッション設けられ、その後、フリーセッションの時間もあった。松山ブースでは 13 社と商談し今後の誘致活動に繋げた。



会場風景



セミナー



松山ブースでの商談風景

③ 誘致懇談会の開催

ア. 中国・四国地区コンベンション推進協議会事業

中国・四国地区のコンベンション推進機関 14 団体で構成する協議会であり、相互に意見・情報交換し、事業の円滑な遂行を図る。

・中国・四国地区コンベンション推進協議会総会の開催

開催日 令和元年7月11日（木）～7月12日（金）

会 場 広島国際会議場

出席者 12 団体 26 名

- ・中国・四国地区コンベンション誘致懇談会
開催日 令和元年 12月 5日（木）
会 場 品川プリンスホテル メインタワー15階

イ. 7都市情報交換会事業

全国を7ブロックに分け、各ブロックから都市規模が同等であるコンベンション推進団体が参加して構成する会であり、相互に情報交換を実施するとともに、年に1度、東京で主催者を招き懇談会を実施。

- ・7都市情報交換会（5回実施）

開催日及び場所 ①令和元年 7月 17日（水）福島
②令和元年 9月 25日（水）東京
③令和元年 12月 2日（月）東京
④令和2年 1月 22日（水）東京
⑤令和2年 3月 5日（木）鹿児島

- ・7都市情報懇談会の開催

開催日 令和2年 1月 23日（木）
会 場 東京會館 7階「クインス」（東京都千代田区丸之内）
主 催 7都市情報交換会
概 要 コンベンション主催者22団体34名と7都市情報交換会の関係者27名の合計61名が一堂に会し、都市の特徴やコンベンション支援に関する情報提供を行い、7都市でのコンベンション開催を積極的に働きかける等、盛会のうちに終了。



会場内風景



抽選会



松山PR

ウ. コンベンション地元誘致懇談会の開催

地元誘致懇談会は2部構成で、第一部は講演会、第二部は次年度以降、愛媛県内で大会開催予定の地元キーパーソンや有力者などの主催者を招き、大会準備や運営に関する情報・意見交換と、当協会賛助会員との商談機会やネットワーキングを目的として開催。今回は第二部を堀之内公園で初めて開催した。

開催日 令和元年 8月 29日（木）
会 場 （第一部）東京第一ホテル松山／（第二部）堀之内公園
概 要 第一部 講演会 講師…山本牧子氏（MPI Japan Chapter 名誉会長）
第二部 懇談会…野球拳の披露、ミニ展示会など



第一部講演会（東京第一ホテル松山）



野球拳



第二部（堀之内公園会場）

④ 海外からの誘致促進事業

- ・松山秋まつりに伴う台北市政府並びに台北市温泉発展協会関係者招聘

日時 令和元年 10月 6 日（日）～10月 8 日（火）

内容 令和元年 10月 5 日～10月 7 日に開催された「松山秋まつり」に合わせて、台北市政府観光傳播局並びに台北市温泉発展協会関係者、台湾マスコミの東森テレビを招聘し、道後神輿鉢合わせを見学するとともに、市内観光地を視察。東森テレビにおいて、10月 27 日に約 14 分の番組として放映されたほか YouTube でも流れ、松山の宣伝に繋がった。



市長表敬



記念撮影



歓迎レセプション



鉢合わせ視察



鉢合わせ



テレビ局の取材風景

(2) 開催支援事業

支出決算 11,851千円

① 開催助成金制度

愛媛県内へのコンベンション誘致を推進し、コンベンション振興を図るため、県内で開催されるコンベンションに対し交付した。

交付件数 33件（平成30年度：47件）

交付総額 8,073,000円（平成30年度：12,860,000円）

（詳細は別紙資料5参照）

② 歓迎用看板等の掲出

国際会議および全国規模（原則として参加者1,000人以上が条件）のコンベンションを対象に、松山空港ビルに看板・パネルを掲出表示。歓迎の意を表することで、参加者に対し松山のイメージアップを図り、来松のリピート効果を上げるために実施した。

掲出実績 松山空港ビル 4件（詳細は別紙資料5参照）

③ 支援グッズの作成

・「ようおいでたなもし’19～’20」（愛媛・松山観光ガイド）の発行

アフターコンベンション用ブックとして、食べ飲み歩きMAPと文化観光施設等割引入場券と一緒にした形で発行。コンベンション参加者に提供した。

発行部数 40,000部

・ナイロン製アームバッグの作成

コンベンション参加者の支援用として作成配布した。

作成枚数 30,000部

④ サポートスタッフの派遣・育成

コンベンションボランティア（会議時における受付・クローケ、通訳等）の派遣や郷土芸能の紹介、派遣を実施した。

＜派遣実績＞

・郷土芸能 1件

・コンベンションボランティア 3件

⑤ その他

・えひめコンベンション施設ガイドの提供

誘致用パンフレットとして、コンベンション主催者に提供した。

提供部数 約 500部

(3) 調査・研究事業

支出決算 3,226千円

① 経済波及効果調査

・平成30年度コンベンション統計の作成

平成30年度に県内で開催されたコンベンションの件数・人数また経済波及効果の調査結果をまとめた資料を作成した。

〈概要〉 コンベンション参加者 1,361,940人（平成29年度：2,182,233人）

推定消費額 85億円（平成29年度：187億円）

※ 平成29年度は「えひめ国体・えひめ大会」が開催されたことが押上げ要因

② コンベンション調査

ア. 2019年度コンベンションカレンダーの発行

2019年度に県内で開催されるコンベンションを記載したもので、賛助会員ならびに大学関係者等に配布した。(発行部数：2,000部)

イ. アンケート調査の実施

コンベンション参加者を対象に、参加地区・利用交通機関・訪問観光地・宿泊ほか参加経費等について調査を行い、経済波及効果測定等の基礎資料とした。

ウ. コンベンションピューロ一部会

JCCB会員(8業種123会員)のうち、コンベンションピューローの会員(73団体)で組織する部会において、コンベンションの振興を図る上での課題等を検討、協議する会。(会員数は2019年6月17日現在)

エ. 2019年度JCCB総会

開催日 令和元年6月17日(月)

会場 京王プラザホテル(東京)

オ. 2019年度JCCB第1回部会

開催日 令和元年7月18日(木)～7月19日(金)

会場 コラッセ福島(福島市)

カ. 2019年度JCCB第2回部会

開催日 令和元年12月3日(火)～12月4日(水)

会場 かづさアカデミアホール(木更津市)

キ. 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会出席

四国地区的コンベンション推進5団体(高松、徳島、鳴門、高知、松山)で構成し、

「四国」として共同誘致や事業等を推進していくための会

<第1回>

開催日 令和元年6月21日(金)

会場 高知県立県民文化ホール(高知市)

<第2回>

開催日 令和2年3月17日(火)

会場 道後温泉 椿の湯 2階会議室(松山市)

③ 管理システムの運用

コンベンションの誘致・支援活動の状況や、キーパーソンに関する情報等を管理し、効率的な誘致・支援につなげるためのシステム運用

・支援を行った大会等

支援件数 114件(平成30年度:148件)

資料配付数 35,588部(平成30年度:42,324部)

(詳細は別紙資料5参照)

III. 収益事業報告

決算総額（収入）4,825千円
(支出) 1,435千円

1. 広告料収入事業

収入決算 1,099千円

支出決算 417千円

(1) 松山城ロープウェイ駅舎3階壁面広告

広告期間 2019年4月1日～2020年3月31日
広告掲載業者 10業者

(2) 物産陳列ケース広告

展示期間 2019年4月1日～2020年3月31日
展示業者 22業者

(3) 松山城ロープウェイ・ゴンドラ内広告

広告期間 2019年4月1日～2020年3月31日
広告掲載業者 8業者

(4) (公財)松山観光コンベンション協会ホームページバー広告

広告期間 2019年4月1日～2020年3月31日
広告掲載業者 5業者

2. 手数料収入事業

収入決算 2,705千円

支出決算 831千円

(1) 案内所での記念グッズ販売による手数料

佐川印刷(株)絵はがき・一筆箋・メモ帳販売	販売数	189	冊
佐川印刷(株)自動販売機（ストラップ・ブックマーク）販売	販売数	736	個
愛媛新聞サービスセンター書籍販売	販売数	11	冊
(株)エス・ピー・シー書籍販売	販売数	3	冊
(株)エーシー松山オリジナルグッズ販売	販売数	550	個
松山はいくチケット販売	販売数	5	枚
(株)ムラヤマ城カード販売	販売数	1,449	枚

(有)前川正樹デザイン事務所ペーパーオーナメント・しおり・クリアファイル販売 販売数 380 枚

(2) 自動販売機での飲料販売による手数料

設置業者 大塚製薬(株)・四国乳業(株)・コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
ダイドービバレッジサービス(株)
売上本数 29, 650 本

(3) 記念メダル販売による手数料

①松山城メダル

メダル等販売数 10, 018 個
刻印機利用数 5, 277 回

②道後温泉メダル

メダル等販売数 1, 194 個
刻印機利用数 703 回

3. 販売収入事業

収入決算 1,021 千円

支出決算 187 千円

(1) 名刺台紙販売

販売数 64 個

(2) 図書販売

販売数 498 冊

(3) ハンドタオル販売

道後温泉足湯タオル販売数 702 枚
松山城ハンドタオル販売数 60 枚

(4) オリジナルグッズ販売

記念バッジ販売数 14 個
紙袋販売数 1, 350 枚
WAONカード 3 枚

IV. その他管理事業等

決算総額 8,510千円

1. 機関紙作成

年2回各4,000部を発行し、全国のコンベンション推進団体及び賛助会員に配布した。

2. ホームページ及び電子パンフレット運営業務

[参考] ユーザー訪問(ページビュー)数 354, 118件（うち、52,133件はスマホサイト）

3. 新規会員の確保

新規加入 16件
会員 402件(3月31日現在)

4. 会議開催

理事会・評議員会の開催を随時行うほか、各専門委員会（企画開発委員会・誘客促進委員会・観光物産振興委員会）を必要に応じ適宜開催した。

(1) 理事会

内容については別紙資料1

- | | | | |
|----|---|-------------------|---------|
| ①期 | 日 | 平成31年4月22日(月) | ※ 決議の省略 |
| ②期 | 日 | 令和元年5月20日(月) | |
| 場 | 所 | 東京第一ホテル松山 | |
| ③期 | 日 | 令和元年6月28日(金) | |
| 場 | 所 | 松山城ロープウェイ駅舎 2階会議室 | |
| ④期 | 日 | 令和元年12月13日(金) | ※ 決議の省略 |
| ⑤期 | 日 | 令和2年2月19日(水) | ※ 決議の省略 |
| ⑥期 | 日 | 令和2年3月26日(木) | |
| 場 | 所 | ANAクラウンプラザホテル松山 | |

(2) 評議員会

内容については別紙資料1

- | | | | |
|----|---|---------------|---------|
| ①期 | 日 | 平成31年4月1日(月) | ※ 決議の省略 |
| ②期 | 日 | 平成31年4月24日(水) | ※ 決議の省略 |

③期　　日　　令和元年6月5日(水)
場　　所　　国際ホテル松山

(3) 各専門委員会

内容については別紙資料2

①誘客促進委員会

期　　日　　令和元年7月10日(水)
場　　所　　松山センタービル1号館　4階　第1会議室

②観光物産振興委員会

期　　日　　令和元年7月4日(木)
場　　所　　松山市立子規記念博物館　1階　視聴覚室

③企画開発委員会

期　　日　　令和元年7月22日(月)
場　　所　　松山市総合コミュニティセンター　2階　第1会議室

5. 共催・協賛事業

(1) 第49回野球拳全国大会

期　　日　　平成31年4月6日(土)
主　　催　　春まつり野球拳全国大会実行委員会

(2) 第16回伊予節全国大会

期　　日　　平成31年4月6日(土)
主　　催　　伊予節全国大会実行委員会

(3) 第49回奥道後皐月展

期　　日　　令和元年5月18日(土)～6月9日(日)
主　　催　　愛媛皐月協会

(4) 松山市制施行130周年記念第69回松山港まつり・三津浜花火大会

期　　日　　令和元年8月3日(土)
主　　催　　松山港まつり振興会

(5) いもたき事業(共催事業)

・出合橋下河川敷

期　　日　　令和元年9月13日(金)～10月19日(土)
主　　催　　観光松山いも炊き会
参 加 者　　5,123名

(6) 松山を楽しもうキャンペーン 2019（共催事業）

期　　日　　令和元年 9月～12月
主　　催　　松山を楽しもうキャンペーン 2019 実行委員会

(7) 松山城「お正月」イベント（共催事業）

期　　日　　令和 2 年 1 月 1 日（水・祝）
主　　催　　松山市、伊予鉄道（株）松山城総合事務所

(8) 第 58 回愛媛マラソン

期　　日　　令和 2 年 2 月 9 日（日）
主　　催　　愛媛陸上競技協会、南海放送、愛媛新聞社、松山市

(9) 愛媛調理製菓専門学校「料理作品展 2020」

期　　日　　令和 2 年 2 月 11 日（火・祝）
主　　催　　学校法人愛媛学園 愛媛調理製菓専門学校

(10) 第 14 回まつやま農林水産まつり

期　　日　　令和 2 年 2 月 15 日（土）～16 日（日）
主　　催　　松山市、まつやま農林水産まつり実行委員会

(11) 坊っちゃんカップ・第 13 回道後温泉卓球大会（共催事業）

期　　日　　令和 2 年 2 月 17 日（月）～2 月 19 日（水）
主　　催　　公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

貸借対照表

令和2年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	34,100,733	27,341,534	6,759,199
未 収 金	34,527,225	46,287,343	△ 11,760,118
過 払 金	0	0	0
棚 卸 資 産	1,542,764	1,577,486	△ 34,722
流動資産合計	70,170,722	75,206,363	△ 5,035,641
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
基 財 · 預 金 債 権	421,208,000	421,232,000	△ 24,000
投 資 有 價 証 券	99,792,000	99,768,000	24,000
基本財産合計	521,000,000	521,000,000	0
(2) 特定資産			0
退 職 給 与 引 当 預 金	12,553,761	9,553,761	3,000,000
特定資産合計	12,553,761	9,553,761	3,000,000
(3) その他固定資産			0
電 話 加 入 権	149,968	149,968	0
什 器 備 品	10,942	16,412	△ 5,470
その他固定資産合計	160,910	166,380	△ 5,470
固定資産合計	533,714,671	530,720,141	2,994,530
資産合計	603,885,393	605,926,504	△ 2,041,111
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
未 払 金	40,238,884	52,195,070	△ 11,956,186
仮 受 金	14,389,074	7,433,807	6,955,267
流動負債合計	54,627,958	59,628,877	△ 5,000,919
2. 固定負債			0
退 職 給 付 引 当 金	39,821,310	43,304,233	△ 3,482,923
固定負債合計	39,821,310	43,304,233	△ 3,482,923
負債合計	94,449,268	102,933,110	△ 8,483,842
III 正味財産の部			0
1. 基金	0	0	0
基金	0	0	0
2. 指定正味財産	521,000,000	521,000,000	0
指定正味財産合計	521,000,000	521,000,000	0
(うち基本財産への充当分)	(521,000,000)	(521,000,000)	(521,000,000)
3. 一般正味財産			0
(1)代替基金	0	0	0
(2)その他一般正味財産	△ 11,563,875	△ 18,006,606	6,442,731
一般正味財産合計	△ 11,563,875	△ 18,006,606	6,442,731
正味財産合計	509,436,125	502,993,394	6,442,731
負債及び正味財産合計	603,885,393	605,926,504	△ 2,041,111

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	308,579	117,348	191,231
基本財産利息収入	308,579	117,348	191,231
特定資産運用益	0	0	0
特定資産運用収入	0	0	0
受取会費	11,845,000	11,865,000	△ 20,000
賛助会員会費収入	11,845,000	11,865,000	△ 20,000
事業収益	7,152,087	7,708,441	△ 556,354
広告料収入	1,099,240	1,148,880	△ 49,640
手数料収入	2,704,926	2,492,125	212,801
販売収入	1,237,962	1,245,945	△ 7,983
観光PR事業収入	402,400	580,400	△ 178,000
物産と観光展手数料収入	1,707,559	2,241,091	△ 533,532
受取補助金等	208,684,926	180,242,193	28,442,733
市補助金等収入	208,684,926	180,242,193	28,442,733
県補助金等収入	0	0	0
受取負担金	3,510,000	1,500,000	2,010,000
負担金収入	3,510,000	1,500,000	2,010,000
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金収入	0	0	0
雑収益	151,005	136,537	14,468
受取利息	720	722	△ 2
雑収入	31,000	0	31,000
雇用保険料預り金	119,285	135,815	△ 16,530
経常収益計	231,651,597	201,569,519	30,082,078
(2) 経常費用			0
事業費	190,131,048	168,567,067	21,563,981
報酬	665,097	631,769	33,328
給料手当	27,296,616	32,506,396	△ 5,209,780
退職給付費用	3,002,863	2,120,374	882,489
福利厚生費	9,082,464	9,819,394	△ 736,930
臨時雇賃金	1,790,135	2,184,134	△ 393,999
会議費	2,056,537	1,158,279	898,258
旅費交通費	36,438,326	9,168,651	27,269,675
通信運搬費	14,502,928	6,979,700	7,523,228
什器備品減価償却費	5,470	5,470	0
手数料	0	3,800	△ 3,800

消耗品費	10,187,354	12,995,671	△ 2,808,317
印刷製本費	4,022,400	3,885,330	137,070
諸謝金	9,525,923	8,021,721	1,504,202
報償費	600,000	600,000	0
委託費	47,116,832	47,749,960	△ 633,128
負担金支出	1,693,800	2,127,700	△ 433,900
広告宣伝費	4,792,150	6,324,660	△ 1,532,510
賃借料	4,004,901	3,841,069	163,832
修繕費	1,429,100	355,320	1,073,780
保険料	971,650	986,790	△ 15,140
燃料費	0	0	0
光熱水料費	262,640	259,112	3,528
助成金支出	9,723,000	15,790,000	△ 6,067,000
租税公課	0	116,400	△ 116,400
雑費	297,340	192,773	104,567
期首棚卸高	1,577,486	1,898,825	△ 321,339
期末棚卸高	△ 913,964	△ 1,156,231	242,267
管理費	35,077,818	34,336,044	741,774
役員報酬	4,475,207	4,579,244	△ 104,037
給料手当	14,283,626	14,107,155	176,471
福利厚生費	4,009,756	3,662,194	347,562
臨時雇賃金	2,258,338	1,583,403	674,935
退職給付費用	1,541,065	1,899,004	△ 357,939
会議費	219,787	350,127	△ 130,340
旅費交通費	0	0	0
交際費	0	32,400	△ 32,400
通信運搬費	1,110,753	1,163,625	△ 52,872
消耗品費	1,475,804	1,493,718	△ 17,914
印刷製本費	504,452	523,584	△ 19,132
諸謝金	200,000	208,300	△ 8,300
委託費	898,420	663,984	234,436
負担金支出	577,514	574,114	3,400
賃借料	2,185,772	2,096,508	89,264
修繕費	157,400	0	157,400
保険料	302,790	270,810	31,980
燃料費	73,932	98,944	△ 25,012
光熱水料費	617,352	623,580	△ 6,228
租税公課	185,850	405,350	△ 219,500
減価償却費	0	0	0
有価証券運用損	0	0	0
雑費(予備費含まない)	0	0	0
経常費用計	225,208,866	202,903,111	22,305,755

評価損益等調整前当期経常増減額	6,442,731	△ 1,333,592	7,776,323
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	6,442,731	△ 1,333,592	7,776,323
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
一般正味財産修正額	0	0	0
退職給付費用			
棚卸資産廃棄損	0	12,595	△ 12,595
経常外費用計	0	12,595	△ 12,595
当期経常外増減額	0	△ 12,595	12,595
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,442,731	△ 1,346,187	7,788,918
一般正味財産期首残高	△ 18,006,606	△ 16,660,419	△ 1,346,187
一般正味財産期末残高	△ 11,563,875	△ 18,006,606	6,442,731
II 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
指定正味財産修正額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	521,000,000	521,000,000	0
指定正味財産期末残高	521,000,000	521,000,000	0
III 正味財産期末残高	509,436,125	502,993,394	6,442,731

令和元年度正味財産増減計算書(内訳表)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	308,579	308,579	0	0	0	0	0	308,579
基本財産利息収入			308,579	308,579			0			308,579
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用収入				0			0			0
受取会費	0	0	11,845,000	11,845,000	0	0	0	0	0	11,845,000
贊助会員会費収入			11,845,000	11,845,000			0	0		11,845,000
事業収益	2,109,959	217,500	0	2,327,459	4,824,628	0	4,824,628	0	0	7,152,087
広告料収入				0	1,099,240		1,099,240			1,099,240
手数料収入				0	2,704,926		2,704,926			2,704,926
販売収入		217,500		217,500	1,020,462		1,020,462			1,237,962
観光PR事業収入	402,400			402,400			0			402,400
物産と観光展手数料収入	1,707,559			1,707,559			0			1,707,559
受取補助金等	141,045,448	28,650,783	0	169,696,231	0	0	0	38,988,695	0	208,684,926
市補助金等収入	141,045,448	28,650,783		169,696,231			0	38,988,695		208,684,926
県補助金等収入	0			0			0			0
受取負担金	2,510,000	0	1,000,000	3,510,000	0	0	0	0	0	3,510,000
負担金収入	2,510,000		1,000,000	3,510,000			0			3,510,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金収入				0			0			0
雑収益	0	20,000	11,720	31,720	0	0	0	119,285	0	151,005
受取利息			720	720			0			720
雑収入		20,000	11,000	31,000			0			31,000
雇用保険料預り金				0			0	119,285		119,285
経常収益計	145,665,407	28,888,283	13,165,299	187,718,989	4,824,628	0	4,824,628	39,107,980	0	231,651,597
(2) 経常費用										
事業費	150,431,998	30,885,451	4,731,431	186,048,880	4,082,168	0	4,082,168		0	190,131,048
報酬	0	0	665,097	665,097	0		0			665,097
給料手当	18,875,216	6,516,666	1,904,734	27,296,616	0		0			27,296,616
退職給付費用	1,512,363	1,490,500	0	3,002,863	0		0			3,002,863
福利厚生費	4,539,740	2,381,124	2,161,600	9,082,464	0		0			9,082,464
臨時雇賃金	1,790,135	0	0	1,790,135	0		0			1,790,135
会議費	1,125,515	931,022	0	2,056,537	0		0			2,056,537
旅費交通費	34,790,216	1,648,110	0	36,438,326	0		0			36,438,326
通信運搬費	14,333,610	169,318	0	14,502,928	0		0			14,502,928
什器備品減価償却費	0	0	0	0	5,470		5,470			5,470
手数料	0			0						0
消耗品費	8,042,905	2,099,149	0	10,142,054	45,300		45,300			10,187,354
印刷製本費	2,196,520	1,825,880	0	4,022,400	0		0			4,022,400
諸謝金	9,083,690	442,233	0	9,525,923	0		0			9,525,923
報償費	600,000	0	0	600,000	0		0			600,000
委託費	40,820,821	3,826,700	0	44,647,521	2,469,311		2,469,311			47,116,832
負担金支出	389,800	1,304,000	0	1,693,800	0		0			1,693,800
広告宣伝費	4,727,350	64,800	0	4,792,150	0		0			4,792,150
賃借料	3,330,686	87,790	0	3,418,476	586,425		586,425			4,004,901
修繕費	1,379,600	0	0	1,379,600	49,500		49,500			1,429,100
保険料	957,150	14,500	0	971,650	0		0			971,650
燃料費	0	0	0	0	0		0			0
光熱水料費	0	0	0	0	262,640		262,640			262,640
助成金支出	1,650,000	8,073,000	0	9,723,000	0		0			9,723,000
租税公課	0		0	0	0		0			0
雑費	286,681	10,659	0	297,340	0		0			297,340
期首棚卸高				0	1,577,486		1,577,486			1,577,486
期末棚卸高				0	△ 913,964		△ 913,964			△ 913,964

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
管理費								35,077,818	0	35,077,818
役員報酬								4,475,207		4,475,207
給料手当								14,283,626		14,283,626
福利厚生費								4,009,756		4,009,756
臨時雇賃金								2,258,338		2,258,338
退職給付費用								1,541,065		1,541,065
会議費								219,787		219,787
旅費交通費								0		0
交際費								0		0
通信運搬費								1,110,753		1,110,753
消耗品費								1,475,804		1,475,804
印刷製本費								504,452		504,452
謝謝金								200,000		200,000
委託費								898,420		898,420
負担金支出								577,514		577,514
賃借料								2,185,772		2,185,772
修繕費								157,400		157,400
保険料								302,790		302,790
燃料費								73,932		73,932
光熱水料費								617,352		617,352
租税公課								185,850		185,850
減価償却費								0		0
有価証券運用損								0		0
雑費(予備費含まない)								0		0
経常費用計	150,431,998	30,885,451	4,731,431	186,048,880	4,082,168	0	4,082,168	35,077,818	0	225,208,866
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,766,591	△ 1,997,168	8,433,868	1,670,109	742,460	0	742,460	4,030,162	0	6,442,731
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,766,591	△ 1,997,168	8,433,868	1,670,109	742,460	0	742,460	4,030,162	0	6,442,731
2. 経常外増減の部								0		
(1) 経常外収益								0		
過年度損益修正益				0			0			0
雑収益				0			0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								0		
退職給付費用				0			0			0
棚卸資産廃棄損				0	0					0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額								0		0
当期一般正味財産増減額	△ 4,766,591	△ 1,997,168	8,433,868	1,670,109	742,460	0	742,460	4,030,162	0	6,442,731
一般正味財産期首残高	△ 83,470,413	△ 41,706,728	84,240,446	△ 40,936,695	9,455,545	△ 1,757,451	7,698,094	15,231,995		△ 18,006,606
一般正味財産期末残高	△ 88,237,004	△ 43,703,896	92,674,314	△ 39,266,586	10,198,005	△ 1,757,451	8,440,554	19,262,157	0	△ 11,563,875
II 指定正味財産増減の部								0		
受取補助金等				0			0			0
一般正味財産への振替額				0			0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高		521,000,000	521,000,000				0			521,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	521,000,000	521,000,000	0	0	0	0	0	521,000,000
III 正味財産期末残高	△ 88,237,004	△ 43,703,896	613,674,314	481,733,414	10,198,005	△ 1,757,451	8,440,554	19,262,157	0	509,436,125

財産目録

令和2年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金 預金	手元保管 普通預金 普通(伊予銀行) 普通(愛媛銀行) 普通(愛媛信用金庫) 普通(県信漁) 普通(県信連) 普通(預り金) 普通(書籍) 普通(グッズ精算) 普通(メダル) 普通(物産)	つり銭準備金として 運転資金として	240,400 33,860,333 17,354,324 1,951,772 10,489,865 612,824 1,404,917 381,199 98,300 142,633 1,407,910 16,589 34,527,225 134,463 72,438 34,317,514 2,810 1,542,764
	未収金 販売収入 手数料収入 物産収入 戻入(物産事業費・保険料) 棚卸資産			34,527,225 134,463 72,438 34,317,514 2,810 1,542,764
流動資産合計				70,170,722
(固定資産)				
基本財産	基財・預金債権 定期(伊予銀行) 定期(伊予銀行) 定期(伊予銀行) 定期(伊予銀行) 定期(愛媛銀行) 定期(愛媛銀行) 定期(愛媛銀行) 定期(愛媛信用金庫) 定期(愛媛信用金庫) 定期(県信漁) 投資有価証券 有価証券(地方債)		公益目的保有財産であり、 運用益を公益目的事業の 財源として使用している。	521,000,000 421,208,000 10,000,000 45,000,000 150,000,000 208,000 45,000,000 55,000,000 30,000,000 56,000,000 20,000,000 10,000,000 99,792,000 99,792,000
特定資産	退職給与引当預金 伊予銀行(普通)			12,553,761 12,553,761
その他固定資産	電話加入権 什器備品		公益目的事業に必要な収益 事業等その他の業務又は活 動の用に供する財産であり、 管理運営の用に供している。 公益目的事業に必要な収益 事業等その他の業務又は活 動の用に供する財産であり、 収益事業の用に供している。	160,910 149,968 10,942
	収益目的保有財産	松山城ロープウェイ駅舎3階	物産陳列ケース	10,942
固定資産合計				533,714,671
資産合計				603,885,393
(流動負債)	未払金 未払金 仮受金			54,627,958 40,238,884 14,389,074
流動負債合計				54,627,958
(固定負債)	退職給付引当金			39,821,310
固定負債合計				39,821,310
負債合計				94,449,268
正味財産				509,436,125

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券…償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品について、定率法の直接法により減価償却を行っている。(償却率:0.25)

(4) リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	421,232,000	0	24,000	421,208,000
投資有価証券	99,768,000	24,000	0	99,792,000
小計	521,000,000	24,000	24,000	521,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	9,553,761	11,026,851	8,026,851	12,553,761
小計	9,553,761	11,026,851	8,026,851	12,553,761
合計	530,553,761	11,050,851	8,050,851	533,553,761

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	421,208,000	(421,208,000)	(0)	(—)
投資有価証券	99,792,000	(99,792,000)	(0)	(—)
小計	521,000,000	(521,000,000)	(0)	(—)
特定資産				
退職給付引当資産	12,553,761	0	0	(12,553,761)
小計	12,553,761	0	0	(12,553,761)
合計	533,553,761	(521,000,000)	0	(12,553,761)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

什器備品	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	149,968	0	0	149,968
什器備品	547,050	5,470	536,108	10,942
合計	697,018	5,470	536,108	160,910

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
第438回大阪府公募公債(10年)	99,792,000	100,880,000	1,088,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
運営補助金	松山市	0	208,684,926	208,684,926	0	一般正味財産

附 屬 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。